

教育研究評議会議事要録(案)

日 時 平成19年 6月 5日(火) 13:30~15:45
場 所 事務局大会議室
出席評議員 遠藤(学長・議長), 須藤, 加藤, 三浦, 石堂, 四宮, 佐藤(三)齊藤,
佐藤(敬), 中路, 南條, 宮田, 高橋, 荒川, 保嶋, 丹野, 矢島, 正村,
内山, 佐々木, 真下, 和田, 市川, 諏訪田の各評議員
役員等陪席者 藁科理事, 小川理事, 安倍監事
監査室陪席者 平岡監査室長
事務局陪席者 上戸総務部長, 洪澤財務部長, 佐藤総務課長, 佐藤人事課長, 下川教務課長,
藤原入試課長, 菊地総務課課長補佐, 齊藤総務課課長補佐, 小田桐総務課総務
G係長, 中川総務G係員

配付資料

- 資料1 (当日配付) 医師不足県における暫定的医師養成増について
- 資料1-1 (当日配付) 農学生命科学部の学科改組について
- 資料2-1 (当日配付) 平成18事業年度に係る業務の実績に関する報告書(案)
- 資料2-2 (当日配付) 平成18事業年度に係る業務の実績に関する報告書(資料編)(案)
- 資料3-1 (当日配付) 弘前大学における教員業績評価の基本方針(案)
- 資料3-2 (当日配付) 弘前大学教員業績評価実施要項(案)
- 資料3-3 (当日配付) 教員業績評価の概要
- 資料4 (当日配付) 教員の資格審査(様式1)
- 資料5 (当日配付) 平成19年度「弘前大学ドリーム講座」の実施について
- 資料6 (当日配付) 進路状況調査表
- 資料7 (当日配付) 弘前大学出版会設立3周年・大学出版部協会加盟記念講演会及び祝賀会
について
- 資料8 (当日配付) 21世紀教育センター運営委員会議事要旨
- 資料9 (当日配付) 教育・学生委員会(第37回)議事要録(案)

会議に先立ち、学長から、運営交付金の問題に関し、新聞等で或いは本学のホームページに載せている「政府諸会議における大学・大学院改革に関する提言等について(緊急声明)」について報告があった。

◎ 学長から、5月8日開催の教育研究評議会議事要録(案)の確認が行われ、承認された。

審議事項

審議1 弘前大学名誉教授称号授与に係る「特任教員及び助手としての勤務年数」について

教育研究評議会にて検討課題としていた特任教員の勤務年数の加算について、特任教員は非常勤であり、これを拡大すると非常勤講師にも適用拡大しなければならないが、名誉教授の判断が甘くなることから、資格要件の勤務年数に加算しないこととしたい旨説明があり、審議の結果、了承された。

なお、助手の勤務年数については、法人化後の規則では加算の対象となっていないので、誤解のないように願いたい旨発言があった。

審議 2 医学部医学科の定員増について

佐藤医学研究科長から、資料1「医師不足県における暫定的医師養成増について」に基づき、医師不足の現状にかんがみ、暫定的な定員増10名について説明があり、審議の結果、医学部医学科の定員増について、了承された。

なお、入学試験に関しては、推薦の地域枠に10名組み込むことを考えており、募集要項の中に組み込む方向で検討している旨発言があった。

審議 3 農学生命科学部の学科改組について

高橋農学生命科学部長から、資料1-1「農学生命科学部の学科改組について」に基づき、本学部の特徴、現在の学科構成及び新学科構成等について説明があり、意見交換後、審議の結果、農学生命科学部の学科改組について、了承された。

なお、評議員から、人件費5年5%の削減に対する方針として学長の考えを伺いたい旨発言があり、学長から、本学は人件費5年5%削減については、「教員の数は減らさない。」ことで了承されており、それを大前提に5年5%削減を行っている。このことについては各学部においての学長説明会でも教職員に説明している旨の発言があった。

審議 4 平成18事業年度に係る業務の実績に関する報告書(案)について

薬科理事から、資料2-1「平成18事業年度に係る業務の実績に関する報告書(案)」に基づき、作成スケジュール、全体的な進捗状況、各項目別の進捗状況、特記事項等について及び資料2-2「平成18事業年度に係る業務の実績に関する報告書(資料編)(案)」に基づき、実施内容等について説明があり、審議の結果、今後必要に応じて修正もあり得ること、最終的には、6月19日開催の経営協議会を経て、役員会において決定の上、6月29日までに文部科学省へ提出することが了承された。

なお、業務実績報告書の項目の記載内容について意見交換があった。

また、学長から本学は今後自己評価をして外部評価を受けることとするが、中期目標・中期計画に記載されていない内容については明確にしたいと思っており、第2期中期目標・中期計画の策定に生かしたい旨の発言があった。

審議 5 教員の業績評価について

薬科理事から、資料3-1「弘前大学における教員業績評価の基本方針(案)」、資料3-2「弘前大学教員業績評価実施要項(案)」及び資料3-3「教員業績評価の概要」に基づき、これまでの意見を反映し変更した部分について及び今後の進め方等について説明があり、評価基準及び評価方法等について意見交換後、本学における教員業績評価の実施について了承された。

報告事項

報告 1 教員の人事について

(1) 教員の採用・昇任

石堂人文学部長及び保嶋副病院長から、資料4「教員の資格審査(様式1)」に基づき、下記教員の採用・昇任について報告があった。

人文学部	高島克史(現職なし)	講師	採用(19.7.1付け)
医学部附属病院	福井康三(附属病院講師)	准教授	昇任(19.5.1付け)
	高瀬 肇(附属病院医員)	助教	採用(19.5.1付け)
	櫛方哲也(附属病院助教)	講師	昇任(19.6.1付け)

報告2 平成19年度「弘前大学ドリーム講座」の実施について

薫科理事から、資料5「平成19年度弘前大学ドリーム講座」に基づき、目的、対象及び実施内容について説明があり、19年度は15件の申込みがあったが、日程等の都合により7校で実施する予定である旨報告があった。また、講座担当講師の推薦について協力依頼があった。

報告3 平成18年度卒業者の就職状況について

須藤理事から、資料6「進路状況調査表」に基づき、18年度は95.3%、17年度と比較して2.0%増となったこと、この結果は、就職支援センターと各学部との連携が効果を上げているものと認識しており、今後も就職率の向上に繋げていきたい旨報告があった。

報告4 大学見学等について

須藤理事から、オープンキャンパス以外にスポットで特定の高校が本学を訪問する場合を大学見学と言っているが、17年度は7校、18年度は14校の高校が本学を訪問したこと、今後各学部長にあてに訪問の周知をするのでPR願いたい旨協力依頼があった。

また、インターンシップ希望に関する通知について質問があり、窓口の総務課で対応することとした。

報告5 弘前大学出版会設立3周年・大学出版部協会加盟記念講演会及び祝賀会について

真下編集委員会委員長から、資料7に基づき、弘前大学出版会は設立後、今年6月で3周年を迎えるが、このたび大学出版部協会への加盟を申請し承認されたこと及び7月13日(金)に50周年記念会館みちのくホールと大学会館スクーラムにおいて「弘前大学出版会設立3周年・大学出版部協会加盟記念講演会及び祝賀会」を開催予定である旨報告があった。

報告6 委員会報告

(1) 21世紀教育センター運営委員会

矢島センター長から、資料8「21世紀教育センター運営委員会議事要旨」に基づき、5月17日開催の同委員会について、次の事項の概要について説明があった。

ア 平成19年度FDワークショップについて

イ 平成19年度既修得単位等の認定に係る審査について

また、9月13日、14日開催予定の「第57回東北・北海道地区大学一般教育研究会」における内容等について説明があった。

(2) 教育・学生委員会

須藤理事から、資料9「教育・学生委員会(第37回)議事要録(案)」に基づき、5月30日開催の同委員会について、次の事項の概要について説明があった。

ア 平成20年度学年歴について

イ 卒業生及び企業等アンケート調査について

ウ 教育者総覧について

エ 弘前大学と弘前市の連携に関する学生アンケートについて

(3) 臨時入学試験改善委員会

須藤理事から、5月15日開催の同委員会について、次の事項の概要について説明があった。

- ア 「平成22年度以降の国立大学の入学者選抜制度に関する中間報告」に関するアンケート調査について
- イ 平成20年度以降の特別選抜について
- ウ 第2志望選抜実施要領について
- エ 合否判定に係る総得点が同点の場合の取扱いについて
- オ 調査書を提出できない志願者への対応について
- カ 入学者選抜要項の見直しについて
- キ 全国大学入学者選抜研究連絡協議会について
- ク 入試過去問題の具体的な対応について

(4) 入学試験委員会

須藤理事から、6月4日開催の同委員会について、次の事項の概要について説明があった。

- ア 平成20年度入学者選抜試験行事日程について
- イ 青森県高等学校校長会との懇談会について
- ウ 平成20年度大学入試センター試験地区別試験場設定について

報告7 その他

(1) 麻疹について

須藤理事から、麻疹による休講措置についてシミュレーションしているが、具体的な判断への対応が難しく、保健管理センター所長に相談しながら検討していくことの報告があった。続いて、佐々木保健管理センター所長から、今のところ本学では0人であること、対策として抗体の検査を実習参加学生に絞って行っていること、休講措置については個々の事例を検討しながらできる限り閉鎖しない方向を探っていきたい旨の発言があった。

これについて種々意見交換後、学長から、今後本学に発生した場合は十分協議して対応していきたい旨発言があった。

(2) 研究白書について

加藤理事から、2005年、2006年の研究白書を発刊したことについて報告があった。

(3) 次回以降の開催予定日について

平成19年 7月10日(火) 13:30～

平成19年 9月11日(火) 13:30～

以上